

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	公園整備事業(備前)	コード	担当課係	都市整備課都市計画係
		01-01-07-01	担当者	牛房裕二
事業実施期間	昭和50年~		電話	0869-64-1834
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	公園緑地		
	施策	公園緑地の整備		

事業について	
目的	公園整備を行うことによって、公園利用者の利便性の向上を図るため
対象 (誰のために)	公園利用者
内容	老朽遊具(コンビネーション遊具、回転遊具)の撤去と遊具の新設(コンビネーション遊具)

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
公園整備	1箇所		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	935	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,885	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,820	一般財源等	2,820	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20	人
結果指標名	公園整備	
結果指標量	1	
単位	箇所	
対前年比	-	
事業費	2,820,000	円
単位当たりコスト①	2,820,000	円

結果指標②	結果指標名	公園整備	
	結果指標量	1	
	単位	箇所	
	対前年比	-	
	事業費		円
	単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	公園整備箇所数	式又は説明	公園整備工事数
成果指標量	17年度		
	1		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	随時

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	茶臼山公園を利用する市民は、子ども連れの家族、近所の住民、桜の季節のみという偏りがある。市民全員が利用してみたいという魅力ある公園を目指す。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市の関与の妥当性	公園整備にあたっては、費用対効果を十分検討しコスト削減を図っていく。
	コストの効率化	
	手段の最適化	
有効性の評価	職場の効率化	公園利用者の安全性と利便性の向上を図ることができる。
	目的達成度	
	成果向上の可能性	
市民参画度		

総合評価	
コメント	開園以来老朽化している遊具には、特に注意が必要であり、また、公園内施設にも老朽化している施設がかなりあるため年次的に整備を行っていく必要がある。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	公園整備数
結果指標量②	
目標値	100%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	費用対効果	毎年度	安全性と利便性の向上

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。